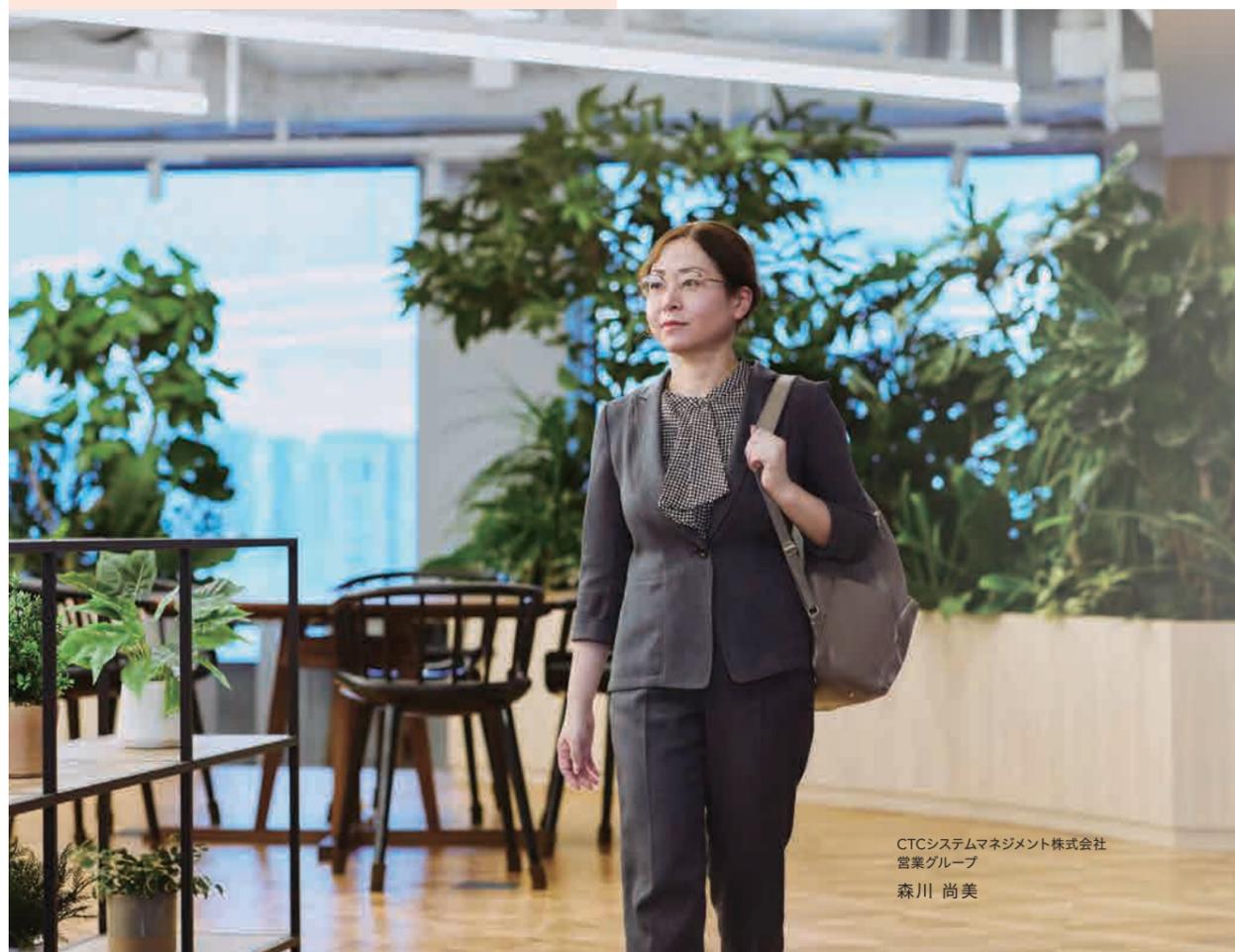




技術と宇宙の力で
もっと素敵な社会へ変えていきたい



CTCシステムマネジメント株式会社
営業グループ
森川 尚美

地上回線が未整備エリアでも 宇宙からインターネットを使えるように

「宇宙と社会を快適につなぐ」。それが私たちの仕事です。CTCシステムマネジメント（以下：CTCS）は、CTCグループの中で主にシステム運用・サポート事業を担う会社です。主要なビジネスの一つとして、多様な衛星通信サービスを軸とした宇宙ビジネスを展開するスカパーJ SAT株式会社（以下：スカパーJ SAT）と併走し、数々の宇宙に関わる事業のシステム運用をサポートしてきました。

私はスカパーJ SATの横浜衛星管制センターにエンジニアとして勤務し、山間部や離島など地上回線が未整備のエリアにおいてもインターネット回線や音声通信が使えるようにするサービスに関わっています。静止衛星を活用した衛星インターネット回線によって山に囲まれた場所でもWeb会議や電話連絡が可能となります。そのサービスを導入するためのシステム構築や監視ツールの開発がエンジニアの仕事となります。

スキルアップを求めて オペレータからエンジニアへ転身

現在エンジニアとしてシステム構築を担っていますが、つい最近までは長らくオペレータとして働いてきました。入社当時はエンジニアに転身するとは想像もしていませんでした。

思い起こせば、私がこの道に進もうと決めたのは中学生の頃。当時はポケベルやPHSから携帯電話が主流となる時代で、無線に興味を抱いて高等専門学校に進学しました。卒業後にCTCSへ入社し、最初は無線の知識が活かせる部署でスカパーJ SATのオペレータとして衛星回線の運用に携わります。交代制による24時間365日対応が必要な仕事で、「衛星回線を利用したい」というお客様への対応、ライブ中継時の衛星の正常性の監視、さらには万一の障害時の初期対応など幅広い業務を担当。CTCSでは女性初となるシフトリーダーとしてマネジメントの経験を経て、2020年からは現在の部署へ移り、ネットワーク系の知識も求

められる業務を担当することになりました。そのように色々と経験や挑戦を積み重ねることで自分自身も成長でき、さらなるスキルアップを求めてエンジニアに挑戦することを決意。自主的に勉強会に参加するなどして必要な資格を取得しました。そうした姿勢を評価されたのか、2024年よりオペレータからエンジニアへと転身し、新たな一歩を踏み出しました。

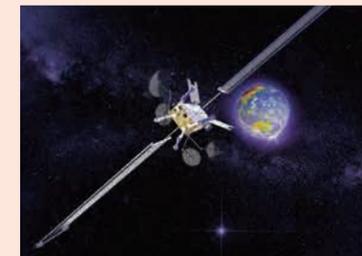
エンジニアとして飛躍することで 女性活躍推進に貢献したい

まだまだエンジニアとしての経験は浅い私ですが、それでも自分にしかできない役割があります。エンジニアとしては数少ないオペレータ経験者ということで、現場目線でのシステム構築や監視が求められています。新しい視点でより良いシステムを生み出していくこと。それが私の使命です。そしてもう一つ。女性活躍の観点で私のキャリアがモデルケースになって多くの女性社員の挑戦につながればと期待しています。現状、女性活躍推進といえば管理職になることだと思われがちですが、エンジニアという役割でも女性が活躍できることを示していきたいです。

宇宙から地球と暮らしを豊かにする 現代社会に欠かせないサービス

宇宙ビジネスに関わって20年余り。衛星回線による様々なサービスを通して豊かな社会作りにも貢献してきました。特に印象的だったのが、2011年の東日本大震災での経験です。復旧活動に衛星通信サービスが活用され、固定電話や携帯電話が通じない中でも衛星通信を利用した携帯電話が被災地での救命活動をサポートしたという体験を通して、自分の仕事が現代社会に欠かせないサービスなのだ改めて実感できました。

これからもスカパーJ SATのビジネスに貢献するエンジニアとして、安定的にサービスを運用できるように、そして宇宙から社会を豊かにするサービスを生み出せるよう、さらなる成長に挑みます。



JSAT-31 © Thales Alenia Space/E. Briot

宇宙の可能性に挑む スカパーJ SATと共に歩んで35年

1989年に日本初の民間通信衛星「JCSAT-1」を打ち上げたスカパーJ SAT。当時からCTCSはスカパーJ SATのパートナーとして運用領域に関わっていました。1996年からは日本初の衛星デジタル多チャンネル放送（パーフェクトTV!）の本放送が開始され、そこでも運用領域を担当するなど、スカパーJ SATと共に35年にわたり、宇宙事業とメディア事業に深く関与してきました。宇宙・衛星サービスは今や社会に欠かせないインフラの一つ。通信、観測、GPS、物流・金融・農林水産のIoTビジネスまで幅広いサービスを支えています。CTCSには無線従事者資格を有する多くのエンジニアが在籍し、宇宙事業における運用領域での豊富な経験があります。こうした強みを活かした未来への活動も加速させています。特に成層圏の通信プラットフォーム「HAPS」は、次世代通信インフラとして注目されており、現在CTCSは電波伝搬検証^{※1}と登録点検^{※2}を担うなど、2026年の事業開始に向けて取り組んでいます。これからもスカパーJ SATと共に、無限の可能性が広がる宇宙ビジネスに挑み続けます。

※1 成層圏における無線環境、通信性能を把握することが目的。総務大臣の登録を受けた無線従事者の資格が必要となる。

※2 無線局の無線設備新設にあたり、電波法に基づいた所定の検査を行うもの。総務大臣の登録を受けた事業者が実施しなければならない。

